

きれいな水辺でつながろう～びわ湖・淀川クリーンアップ～
第 3 回 仲間づくりフォーラム 速報

【開催概要】

日 時：平成 25 年(2013) 3 月 31 日 (日) 13:30～16:30

会 場：大阪府環境情報プラザ（大阪市東成区中道 1-3-62）

目標数：30 名 実績数：15 名

プログラム：

時間	内容	講師・発表者等
13:00～	受付開始	
13:30～	開会、主催者あいさつ	エコネット近畿 米道常任理事
第 1 部 講演「行政とコラボ！他団体とコラボ！」		
13:35～	講演①「生物多様性の視点から自然保護活動を考える」	大阪府農林水産総合研究所 水生生物センター 主幹研究員 上原 一彦氏
14:20～	講演②「紙芝居 海と空の約束」	海と空の約束プロジェクト 代 表 西谷 寛氏
15:05～	休 憩	
第 2 部 ワークショップ		
15:10～	イベント企画	「水辺での市民参加型イベント企画」 企画を考え、A3 用紙でチラシをつくる
15:55	発表	イベントを 1 分間でプレゼンテーション
第 3 部 参加者交流会		
15:55～	参加団体同士による交流会。(ワールドカフェ形式で)	
16:25		
16:30	閉会	アンケートのご記入・回収

第 3 回を迎えた仲間づくりフォーラム。きれいな水辺に集う仲間がつながりあうことで、地域の課題に取り組み、活動がさらに発展し継続することを願って、「行政や他団体」との協働をテーマに開催しました。

行政との協働については、水生生物センターの主幹研究員である上原氏にご講演をいただき、協働の事例や今後の展開のヒント、イベントを企画する際に注意したい「生物多様性保全の視点」をお話いただきました。

水生生物センターなど研究機関と綿密な連携をとることで市民には煩雑な許可申請や、専門的アドバイスが得られ、より「生物多様性」に配慮した自然保護活動を地域で展開できた事例など、具体的な行政との協働のかたちを示していただきました。

つづく西谷氏には、「生物多様性の本箱～みんながつながる 100 冊～」の 1 冊に選ばれた自作の「海と空の約束」という絵本や紙芝居をつかった環境教育や、子ども達の身近にある学校や図書館に絵本を贈ることで、大人を巻き込む環境活動へつなげる事例をご紹介いただきました。

絵本や紙芝居を人の声で伝えるというアナログな活動の一方で、HP やブログ、facebook でイベント報告等の情報発信を行い、海外の団体との協働や多様なセクターや様々な場所でのコラボを可能にした事例からは発信と継続の大切さが伝わりました。さまざまな世代が活動に関わっておられることも、多くの団体にとっては参考にしたい事例でした。

講演のあとは、参加者を 3 つのグループにわけ、講師のお二人にもはいついていただいて水辺での市民参加型イベントを企画し、チラシを作成する作業をしていただきました。

短時間の間に、夏休みを利用した宿泊イベントや、ゴミ問題を徹底的に考えるミーティング、淀川の地域資源を活かしジミを取り、観察し、味わうという 3 つの企画が発表されました。

このワークをきっかけに、第 3 部の交流会では、参加者同士が日頃の活動の課題や疑問点などを互いに情報共有し深める場となりました。

【実施風景】



上原氏 講演



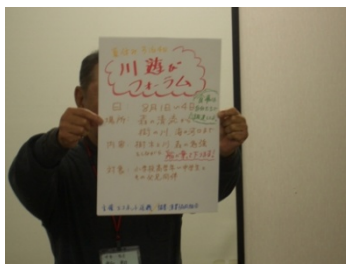
西谷氏 講演



紙芝居 海と空の約束



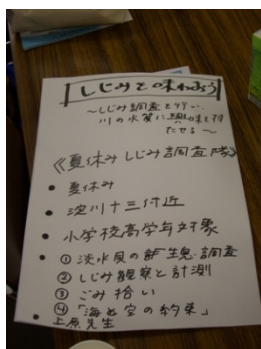
会場の様子



イベント企画①



発表のようす



イベント企画②



発表のようす



発表のようす

以上